

大学生のための電子辞書活用法

英語英文学科 阿部曜子 先生



中学や高校の入学祝いに買ってもらった電子辞書、これまで大いに活躍してくれたと思います。今持っている辞書をそのまま使い続ける人も、「買い換えた方が良いのかな？」と迷っている人も、初めての電子辞書を買う人も、大学生ならではの電子辞書活用法を知ることが大切です。以下に、電子辞書の選び方やより効果的な使い方のためのヒントを3点挙げます。

電子辞書活用法 その1

「連語辞典」を知っていますか？大学生になったらぜひとも活用したい辞書です。連語辞典が教えてくれるのは、単語と単語の相性です。例えば、「その部屋は海に面している」を英訳するとします。「面する」を和英辞書で引くと、face, border on, look toward など色々出てきますが、このうちのどれを使えば良いか分からないことも多いはず。そこで連語辞典の登場となります。例えば『オックスフォード連語辞典』で room を引き、' ROOM+VERB' までスクロールすると、' adjoin sth, face sth, overlook sth' とあり、これらの動詞が room とともに頻繁に用いられることが分かります。「活用辞典」や「コロケーション辞典」といったタイトルの辞書も「連語辞典」の仲間です。研究社の『英和活用大辞典』で同じように room + 動詞 > を引くと、connect, face, fill などの動詞を用いた例文が並んでいます。この中から文脈に合った動詞を選び、the room faces the sea とすれば間違いなしです。連語辞典を使うことによって、実際に用いられている表現により近い、自然な英文を書くことができます。

電子辞書活用法 その2

電子辞書の一番の強みは、それぞれ異なった特長をもつ複数の辞書を効率良く引くことができる点です。同じ単語を複数の辞書で検索する「ジャンプ」機能を活用しましょう。（津田塾大生協が扱うモデルでは、最上段に並んだ辞書名ボタンを押すことで別の辞書にジャンプできます。）文法的な解説が詳しい辞書もあれば、固有名詞に強い辞書もあります。一つの単語を複数の辞書で引くことによって、それぞれの辞書の特徴が見えてくるはずですが、自分の電子辞書にどのような辞書が搭載されているか、よく慣れ親しんだ上で上手に使い分けましょう。大学での学修に必要な辞典としては、中高生用の「学習辞典」（『ジーニアス英和辞典』など）と比べて、語彙の数も定義の数も豊富ないわゆる「大辞典」が挙げられます。研究社『新英和大辞典』や『ジーニアス英和大辞典』などが代表格ですが、少々毛色が異なる『リーダーズ英和辞典』もお勧めです。また、津田塾生に必ず使っていただきたいのが、英英辞典です。『オックスフォード現代英英辞典』や『ロングマン現代英英辞典』、『コウビルド英英辞典』などは、英英辞典初心者にも使いやすい辞書です。使い慣れるまでは、まずは英英辞典を引いてから英和辞典にジャンプして確認すると良いでしょう。この方法で毎日使い続けられれば、夏休み頃には違和感なく英英辞典を使いこなせるようになります。

電子辞書活用法 その3

「用例」ボタンを押す！ひたすらに押す！！辞書は単語の定義を調べるためのものではありません。例文を調べるためのものです。単語を人に比べると、定義を引くというのは、その人の「正面、横顔、上半身、全身」の証明写真を見せられることに相当します。例文を読むことによって、その人が動いたりしゃべったりしている姿を確認することができます。証明写真を目にするだけでは、その人を「知った」ことにならないのと同様に、「定義」を覚えるだけではその単語を「知った」ことにはなりません。沢山の例文を通してその単語の「人となり」に接することによって、本当の意味でその単語とお近づきになることができます。